



「Society5.0」と「第4次産業革命」とは？

DX時代、どう会社を率いていけばよいのか？

DXによって業界/会社がどう変わるのか？

大久保秀夫会長登壇！ PICC LIVE

「迫りくるDX時代に求められる経営者の在り方」

今年初のPICC LIVEは、会長である大久保秀夫が「迫りくるDX時代に求められる経営者の在り方」と題し、お話させていただきます。「DXってなんだ？」、「DXは聞いたことがあるけど何が重要か？」、「経営者としてどんなことをすればいいかイメージできない」という方、ぜひご参加ください。時代の変化にいち早く対応していくことが、強く・正しい経営の在り方として不可欠です。

「迫りくるDX時代に求められる経営者の在り方」概要

– 当日お話する予定の項目 –

- ・「Society5.0」と「第4次産業革命」
- ・挑戦すべきはデジタルトランスフォーメーション
- ・DX時代に求められる経営者の在り方
- ・DXによって業界/会社がどう変わるか
- ・DXに挑戦する企業の事例紹介
- ・質疑応答

開催日時： 2021年6月27日（日） 13:30開始（開場13:15）
-15:00終了予定 ※多少前後する可能性があります

配信： Zoom会議

参加費： 無料

お申込み： QRコードからお申し込みください。
お申し込みいただいたメール宛に後日、
Zoomの参加URLをお送りいたします。
定員（500名）に達した場合、締め
切らせていただきます。

主催： 一般社団法人公益資本主義推進協議会
お問い合わせ： info@picc.or.jp



登壇者・大久保 秀夫 プロフィール：



1954年、東京都生まれ。1980年、25歳で新日本工販株式会社（現在の株式会社フォーバル-東京証券取引所 市場第一部）を設立、代表取締役に就任。情報通信業界で数々の挑戦を続け、1988年、創業後8年2ヶ月という日本最短記録で史上最高年少（ともに当時）の若さで店頭登録銘柄（現JASDAQ）として株式を公開。同年、社団法人ニュービジネス協議会から「第1回アントレプレナー大賞」を受賞。上場会社3社を含むグループ企業33社を抱える企業グループに成長させた。2010年、社長職を退き、代表取締役会長に就任。会長職の傍ら、講演・執筆、国内外を問わずさまざまな社会活動に従事。「公益財団法人CIESF（シーセフ）」理事長、一般社団法人公益資本主義推進協議会代表理事、東京商工会議所副会頭・中小企業委員会委員長などを務めている。『最高の生き方』（ビジネス社）など著書多数。



PICCは、公益資本主義を全国に広め、世の中を変えるためのきっかけをつくる活動を推進しています。「公益資本主義」とは、米国型の株主資本主義でも中国型の国家資本主義でもない第三の道を指し、原丈人が著書『21世紀の国富論』や自身が設立したアライアンス・フォーラム財団にて提唱している概念です。

企業を「本業を通じて世の中に役立ち、雇用と納税で国を支える社会的存在」と捉え、株主の利益のみを優先するのではなく、社員とその家族・顧客・取引先・地域社会などステークホルダー全体への貢献（公益）を重視する資本主義を指します。

PICCビジョン

PICC 第5期社員総会 / 第3回優秀事例発表会

限界が見えてきた現資本主義に成り代わる日本発の新しい資本主義 = 公益資本主義を世界に発信し、地球益に貢献する。

そのため、PICC会員企業がいま為すべきことは、

社会性をベースとした会社・事業を創出し、**独自性**のあるビジネスモデルに昇華させる。
同時に、**経済性**も成り立つよう**改良改善**に挑戦する。

その結果生まれた利益は、社員とその家族、取引先、顧客、地域社会、株主、つまり社中全体に**公平に分配**していくことで共存共栄を果たし、**永年続く**企業となることを目指す。



団体概要

名称	一般社団法人 公益資本主義推進協議会		
設立	2014年1月27日		
会員／支部	企業会員204社、U25会員73名 ／ 全国5支部、3設立準備委員会		
役員	最高顧問 原丈人 副会長 田中勇一 理事 前川洋一郎 理事 北見俊則 相談役 大島賢三、川原正孝、林英臣	会長 大久保秀夫 理事 阿比留正弘 理事 館逸志 監事 佐藤栄作	
連絡先	東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル14階 TEL 03-6826-1234		
	https://www.picc.or.jp info@picc.or.jp		